

社会連携室だより

「社会連携室だより」は、松山大学の教職員・学生が主体となり実施した地域社会連携・貢献活動を、皆さま方に広く知っていただくことを目的に、様々なトピックを取り上げ、不定期に発行していきます。

社会人基礎力育成事業

松山大学では、学生・教員が地域産業・企業と連携して、地域ならびに地域産業の活性化を推進すると同時に実践プロセスを通して、学生の実用的知識の習得、社会人に向けての成長を生きた形で推進しています。今回は、各プロジェクトの概要と、今年度の取り組みについてご紹介します。

のうみん社プロジェクト ～社会人基礎力育成グランプリ参加～

連携先：のうみん社

のうみん社プロジェクト（担当教員：経営学部教授 檀裕也）では、12月6日（日）に岡山商科大学で開催された社会人基礎力育成グランプリ2016中国・四国地区予選大会に参加しました。

「社会人基礎力」は、「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」として、2006年に経済産業省により提唱されました。「社会人基礎力」育成事業の一環として、2007年度から全国の大学における「社会人基礎力」の育成事例とその成果を学生チームが発表する「社会人基礎力育成グランプリ」が開催されています。



緊張の面持ちで発表するメンバー



会場校(岡山商科大学)前で記念撮影



奨励賞を受賞しました！

iProject! で『びわ葉パウンドケーキ』をプロデュース！

連携先：伊予農業高等学校・伊予市役所

iProject!（担当教員：経済学部教授 松本直樹）では、今年度、びわ葉パウンドケーキ、びわシェイク、びわミルクティーの3つの商品化に取り組んでいます。

びわ葉パウンドケーキについては今夏商品化され、9月20日（日）松山自動車道石鎚山サービスエリア(上り線)にて、伊予鉄会館様、伊予市副市長様をはじめとする伊予市役所職員の方々、伊予農業高等学校の生徒さんと共に、初の店頭販売を行いました。屋外に特別ブースを設けていただき、休憩で立ち寄ったお客様に、びわ葉パウンドケーキの試食、びわ葉茶の試飲を勤めてPRを行いました。また、松山空港 ANA ラウンジにおいても商品のPR活動として試食会を行いました。



6/21 第1回試食会@伊予農業高校



9/20 石鎚山 SAにて初の店頭販売！



12/5 松山空港 ANA ラウンジ試食会

※iProject!とは・・・伊予農業高等学校生活科学科の食物班と松山大学学生、伊予市の伊豫国「あじの郷」づくり実行委員会が連携した協働事業で、平成24年4月から実施しています。

伊予市の特産品や農業・漁業分野で発生する規格外品などを使って伊予農業高校生が開発する料理やお菓子などのメニューについて、松山大学の学生が消費者の目線でさらに磨きをかけて改良を加えた後、松山大学生がキャッチコピーやポップなどを考案して、市場にプロデュースするプロジェクトです。特産品等の販売促進、地域の話づくりなどによる地域の活性化のほか、高校生、大学生の社会人基礎力育成の場としても期待されています。

まちの元気再生プロジェクト ～松山観光ガイドブック贈呈式・配布イベント実施～

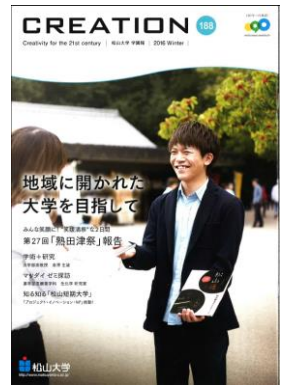
まちの元気再生プロジェクト（担当教員：経営学部准教授 河内俊樹）によって制作された観光ガイドブック「いくたびくるたび松山通 Vol.2」の贈呈式・配布イベントを同プロジェクトメンバーが主催し、松山市の協力のもと、松山城・JR 松山駅・道後温泉本館の3か所で行いました。

今回の贈呈式・配布イベントを中心的に企画した井上亮太さん（経営3年）は、「プロジェクトを通して、自己管理能力や課題発見力などが自分に身についたと感じています。その中でも、プロジェクトを仕事として捉え、責任をもって取り組むことで、仕事観を養えたことが一番大きな成長だと思っています」と話してくれました。



松山城での配布イベントの様子。このあと、松山城を訪れた観光客に学生が手渡しで配布しました。

学園報の記事も是非ご覧ください！



日本酒普及プロジェクト ～酒蔵巡り～

連携先：高松国税局

日本酒普及プロジェクト（担当教員：経済学部教授 松井名津）では、10月に栄光酒造株式会社、酒六酒造株式会社、桜うづまき酒造株式会社を訪問させていただきました。実際の酒蔵を見学することで、日本酒の製造工程を目で見て肌で感じることができました。また、具体的なお酒造りの流れについてや、杜氏のお酒への思い、愛媛の日本酒についての現況と特徴、製品（商品）の特性について等、日本酒に対する理解を深めることができました。

今回の酒蔵訪問を軸に、今後、当プロジェクトでは各酒蔵紹介パンフレットを作成していく予定です。



初めての酒蔵訪問。日本酒の製造工程を体験することができました。



秋晴れの内子町で、杜氏の熱い思いを目で見て肌で感じました。

※本プロジェクトは、若者が日本酒の持つ魅力や酒造りの文化に親しみを感じ、愛媛県における蔵元、そして日本酒に近づけるよう、実際に蔵元を訪問し、最終的には、各酒蔵紹介パンフレットを作成することを目指します。また、インタビュー等のまとめを通じて、文章表現力やプレゼンテーション力を養い、様々な現象を通じて、経済学の基本的考え方や社会の見方を学んでいきます。

ゲーム開発プロジェクト ～もぎ恋 完成！～

連携先：株式会社アイムビック、株式会社サウンドルーツ

ゲーム開発プロジェクト（担当教員：経営学部教授 榎裕也）では、スマートフォンで動作するゲームアプリを開発するため、地域のIT企業やメディア等の連携を目指し、フレームワークの構想から取り掛かり、今年度はWindows版乙女ゲームの「もぎたて恋愛ひとつどうですか？」（略して『もぎ恋』）がついに完成！

ストーリー：主人公の「松山 椿(変更可能な名前)」は幼馴染みの「苺」に後押しされ、パティシエになることを夢見て専門学校に通いながら、ケーキ屋でパティシエ見習いとして働くことになる・・・

あなたを待ち受けていたのは、フルーツを擬人化したイケメン達との甘く純粋な恋愛だった・・・

毎年冬になると行われるコンテストを舞台に、あなたは無事に立派なパティシエになることができるのか、そして恋の行方は・・・

<http://mugd.html.xdomain.jp/gameDL.html> ←「もぎ恋」で検索♪学生の作ったゲームをぜひ体験してみてください！

★各プロジェクトに興味のある学生は お気軽に社会連携室まで…★

経営企画部社会連携室

松山大学文京キャンパス東本館5階
 電話番号：089-926-8246（内線：617）
 F A X：089-926-7973
 メール アドレス：mu-renkei@matsuyama-u.jp

お願い

「社会連携室だより」では、松山大学の教職員、学生が主体となり実施した地域連携・貢献活動を取り上げ、不定期に発行していく予定です。社会連携室が管轄して行ったもの以外にも、ゼミやサークル単位等で実施した活動がございましたら、社会連携室まで情報提供をお願いいたします。